

●粉 剤(農林水産省登録 第16885号)

2023年4月現在の登録内容

作物名	適用病害名	使用液量	使用時期(収穫前)	本剤の使用回数	使用方法	トルクロホスメチルを含む農薬の総使用回数
とうがん	実褐斑病	30kg/10a	45日前まで	1回	土壌表面散布	1回
だいおう	苗立枯症	150g/10a分の突起板使用覆土約12ℓ	は種前		ペーパーポット用の覆土に均一に混和	
チューリップ	葉腐病	10~20kg/10a	植付時			
花き類・観葉植物	立枯病	50kg/10a	定植前	1回	土壌混和	5回以内
スイートピー	腰折病					
シクラメン	苗立枯病(リゾクトニア菌)					

### 【使用上の注意(水和剤)】〈抜粋〉

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 石灰硫黄合剤、ボルドー液との混用はさけてください。
- てんさいの根腐病、葉腐病に対しては、予防的に散布してください。また、根腐病に対しては株元を中心に散布してください。
- ばれいしょに対しては、所定濃度の薬液に瞬時~10分間浸漬し風乾後、貯蔵または植え付けてください。
- さやえんどうの茎腐病に使用する場合、多発地では種子粉衣処理では効果が不十分な場合もあるので、土壌灌注処理と合わせて防除してください。
- オクラの苗立枯病に対しては、植え穴または株元に灌注処理をしてください。
- 水耕栽培に使用する場合、本剤を使用した施設から廃液をかんがい水路、排水路、河川等には絶対に流さず、適切に処理してください。
- 眼に対して刺激性があるので眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の処置を受けてください。使用後はうがいをするとともに洗眼をしてください。
- 本剤で処理した種いもは食料や動物飼料として用いないでください。
- 浸漬後の薬液は、河川等に流さず、水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

### 【使用上の注意(粉剤)】

- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- てんさいの苗立枯病防除に使用する場合、ピシウム菌、アファノマイセス菌、フザリウム菌に起因する苗立枯病には効果が劣るので、これらの菌が優占する圃場での使用はさけてください。
- ほうれんそうの株腐病防除に使用する場合、多発生条件では効果がやや劣ることがあるので、所定範囲での多い薬量を土壌混和してください。
- 間引き菜、つまみ菜に使用しないでください。
- 水産動植物(甲殻類、藻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。

### 【使用上の注意(水和剤・粉剤共通)】



- 野菜類の苗立枯病防除では、リゾクトニア菌による苗立枯病には有効であるが、他の病原菌による苗立枯病には効果が劣るので、それらによる苗立枯病の混発が予想される場合には、他の有効な薬剤と組み合わせて使用してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお普及指導センター、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 本剤を施設で使用した後、施設内に臭気が残る場合は換気を行ってください。
- 使用の際は農業用マスク、不浸透性手袋などを着用してください。
- 直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●空袋・空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。

05R4D23R02:OG

2023年4月作成(小城プロデュース)

大地のめぐみ、まっすぐ人へ  
SCC GROUP

**住友化学**



〒103-6020 東京都中央区日本橋2丁目7番1号  
お客様相談室 ☎ 0570-058-669  
チャンネルはこちら！  
農業支援サイト <https://www.inouryoku.com>  
 住友化学アグロ事業部



# リゾクトニア菌による諸病害・白絹病などに

# リゾレックス® 水和剤・粉剤

リゾレックスは住友化学(株)の登録商標



## 特長

- 1 リゾクトニア病害などに卓効を示します。
- 2 優れた残効性を示します。
- 3 登録作物数が多く、使いやすい薬剤です。
- 4 りんご／紫紋羽病に安定した効果があります。(水和剤)

地上部からの注入(40ℓ/樹)が可能で大幅な省力化が図れる他、結実樹にも使用できるため予防的な使い方が可能です。

## 使い方いろいろ さらにワイドになりました!

### 問題の諸病害防除に

りんご／紫紋羽病(水和剤)・キャベツ／株腐病(水和剤)・ねぎ／白絹病(水和剤・粉剤)・だいこん／亀裂褐変病[リゾクトニア菌](粉剤)・にんじん／根腐病(水和剤・粉剤)・みつば／立枯病(水和剤・粉剤)・ほうれんそう／株腐病(粉剤)

## 適用病害と使用方法

●水和剤(農林水産省登録 第16882号)

2023年4月現在の登録内容

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期(収穫前)	本剤の使用回数	使用方法	トルクロホスメチルを含む農薬の総使用回数	
てんさい	根腐病	100	ペーパーポット 1冊当たり 1ℓ(3ℓ/m <sup>2</sup> )	定植前	1回	灌注	6回以内 (育苗土壌への混和は1回、 500倍希釈灌注は1回、 100倍希釈灌注は1回、 散布は3回以内)	
	葉腐病	500~1000	100~300ℓ /10a	30日前まで	3回以内	散布		
	苗立枯病(リゾクトニア菌)	500	3ℓ/m <sup>2</sup>	育苗中期	1回	土壌灌注		
ばれいしょ	黒あざ病	50~100	—	貯蔵前または植付け前	1回	種いも浸漬 (10分以内) 全面 土壌灌注	1回	
にんじん	苗立枯病(リゾクトニア菌)	1000	3ℓ/m <sup>2</sup>	は種時			2回以内 (は種前は1回、は種後は1回)	
麦類	雪腐小粒菌核病	1000~1500	300ℓ/10a	14日前まで	2回以内	全面 土壌灌注	2回以内	
レタス	すそ枯病	500	60~150ℓ/10a	根雪前			3回以内	
キャベツ	白絹病	1000	100~300ℓ /10a	7日前まで	3回以内	散布	3回以内	
はくさい	株腐病	500~1000	—	14日前まで			3回以内 (定植前の土壌混和は1回)	
ミニトマト	尻腐病	1000	—	—	1回	土壌灌注	1回	
トマト	苗立枯病(リゾクトニア菌)	500	3ℓ/m <sup>2</sup>	は種時				種子粉衣
きゅうり	種子重量の 0.5%粉衣	—	—	—				土壌灌注
なす	苗立枯病(リゾクトニア菌)	500	3ℓ/m <sup>2</sup>	—	1回	土壌灌注	4回以内 種子粉衣は1回、 は種前の土壌混和及び は種時の土壌灌注は 合計1回、 株元灌注は2回以内	
ほうれんそう	種子重量の 0.5%粉衣	—	—	—	種子粉衣			
ピーマン	白絹病	1000	1ℓ/株 1ℓ/m <sup>2</sup>	前日まで	2回以内	株元灌注	2回以内	
ししとう	立枯病	500	0.5ℓ/m <sup>2</sup>	90日前まで			2回以内 (は種前の土壌混和は1回)	
甘長とうがらし	立枯病	500	0.5ℓ/m <sup>2</sup>	90日前まで	1回	散布	1回	
みつば(水耕栽培)	リゾクトニア病	1000	100~300ℓ /10a	育苗期但し、収穫40日前まで	2回以内	散布	3回以内 (は種前は1回、は種後は2回以内)	
こまつな	立枯症(リゾクトニア菌)	1000	3ℓ/m <sup>2</sup>	14日前まで	1回	土壌灌注	3回以内	
メキャベツ	立枯症(リゾクトニア菌)	1000	3ℓ/m <sup>2</sup>	は種、仮植時及び定植時	3回以内	散布	3回以内	
アスパラガス	茎枯病	500	100~300ℓ /10a	収穫後から茎葉刈取り期まで但し、 収穫14日前まで				
メロン	苗立枯病	500	100~300ℓ /10a	株養成期 (は種又は定植時から 茎葉刈取り期まで 但し、収穫14日前まで)	1回	株元灌注	2回以内 (定植時は1回、生育期は1回)	
こんやく	黒点根腐病	1000	3ℓ/m <sup>2</sup>	定植時 生育期但し、収穫21日前まで	3回以内	土壌灌注	3回以内	
だいず	白絹病	1000	3ℓ/m <sup>2</sup>	30日前まで 14日前まで				
ふき	白絹病	1000	3ℓ/m <sup>2</sup>	21日前まで	1回	株元灌注	3回以内 (種茎粉衣は1回、 定植前の土壌混和は1回、 株元灌注は1回)	
りんご	紫紋羽病	1000	40ℓ/樹	60日前まで	1回	土壌灌注	1回	
オクラ	苗立枯病(リゾクトニア菌)	1000	1ℓ/m <sup>2</sup> (150m <sup>2</sup> /穴)	は種時及び子葉展開時	2回以内	樹穴土壌灌注	2回以内	
うど	白絹病	1000	100~300ℓ /10a	45日前まで	2回以内	散布	3回以内 (粉剤は1回、水和剤は2回以内)	
はすいも(葉柄)	茎腐病	1000	100~300ℓ /10a	7日前まで			3回以内	
ぎぼうし	白絹病	1000	1ℓ/m <sup>2</sup>	90日前まで	2回以内	株元灌注	2回以内	
ブロッコリー	苗立枯病(リゾクトニア菌)	500	3ℓ/m <sup>2</sup>	育苗期			3回以内 (育苗期は2回以内、 定植後は1回)	
さやえんどう	苗立枯病(リゾクトニア菌)	500	3ℓ/m <sup>2</sup>	21日前まで	1回	株元灌注	3回以内 (育苗期は2回以内、 定植後は1回)	
実えんどう	茎腐病	1000	—	は種時	2回以内	種子粉衣	3回以内 種子粉衣は1回、 は種時の土壌灌注は1回、 生育期の土壌灌注は2回以内 但し、は種時に 土壌灌注をする場合には1回	
豆類 (未成熟、ただし、 さやえんどう、 実えんどう、 未成熟そらまめを除く)	苗立枯病(リゾクトニア菌)	1000	1ℓ/m <sup>2</sup>	7日前まで				
未成熟そらまめ	白絹病	1000	1ℓ/m <sup>2</sup>	は種時	1回	土壌灌注	1回	
未成熟とうもろこし	茎腐病	1000	1ℓ/m <sup>2</sup>	前日まで	2回以内	株元灌注	2回以内 (は種時は1回)	
みょうが(花穂)	紋枯病	1500	100~300ℓ/10a	14日前まで			2回以内	散布
	白絹病	2000	5ℓ/m <sup>2</sup>	14日前まで	2回以内	土壌灌注	2回以内	

●水和剤(農林水産省登録 第16882号)

2023年4月現在の登録内容

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期(収穫前)	本剤の使用回数	使用方法	トルクロホスメチルを含む農薬の総使用回数
みょうが(茎葉)	白絹病	2000	5ℓ/m <sup>2</sup>	みょうが(花穂)の 収穫14日前まで 但し、花穂を収穫しない 場合にあつては 開花期終了まで	2回以内	土壌灌注	2回以内
にら		1000	3ℓ/m <sup>2</sup>	21日前まで 前日まで	2回以内	株元灌注	2回以内
にら(花茎)			100~300ℓ /10a	3回以内	株元散布	3回以内	
ねぎ	黒あざ病	50~100	—	貯蔵前または植付け前	1回	土壌灌注	1回
にんじん	苗立枯病(リゾクトニア菌)	1000	3ℓ/m <sup>2</sup>	は種時			
ふだんそう	立枯病	500	3ℓ/m <sup>2</sup>	は種時但し、 収穫14日前まで	1回	土壌灌注	1回
みずな	リゾクトニア病	1000	—	は種時			
チューリップ	葉腐病	100	100ℓ/10a	植付前	5回以内	全面散布 土壌混和 全面 土壌散布	5回以内
花き類・ 観葉植物	立枯病 株腐病 茎腐病 白絹病	200	200ℓ/10a	植付後~萌芽前			
スイートピー	腰折病	500~1000	3ℓ/m <sup>2</sup>	生育期	5回以内	株元灌注	5回以内
カーネーション	根腐病	500~1000	3ℓ/m <sup>2</sup>	—			
アスター	苗立枯病 (リゾクトニア菌)	500~1000	3ℓ/m <sup>2</sup>	生育期	5回以内	土壌灌注	5回以内
ハイドラソシア	葉腐病	500~1000	3ℓ/m <sup>2</sup>	—			
樹木類	くもの巣病 白絹病	1000	100~300ℓ/10a 200~700ℓ/10a	発病初期	5回以内	株元灌注	5回以内
えぞまつ(苗木) とどまつ(苗木)	苗立枯病 (リゾクトニア菌)	1000	3ℓ/m <sup>2</sup>	発芽後(発病初期)			

●粉 剤(農林水産省登録 第16885号)

2023年4月現在の登録内容

作物名	適用病害名	使用液量	使用時期(収穫前)	本剤の使用回数	使用方法	トルクロホスメチルを含む農薬の総使用回数
てんさい	苗立枯病 (リゾクトニア菌)	125~250g/10a分の 用土約280ℓ	は種前	1回	ペーパーポット用の 用土又は 覆土に均一に混和	6回以内 (育苗土壌への混和は1回、 500倍希釈灌注は1回、 100倍希釈灌注は1回、 散布は3回以内)
トマト		75~150g/10a分の 覆土約20ℓ				
きゅうり		50~100g/10a分の 突起板使用覆土約7ℓ				
なす	苗立枯病(リゾクトニア菌)	50~100g/m <sup>2</sup>	は種前	1回	土壌混和	1回
ピーマン	白絹病	50~100g/m <sup>2</sup>	は種前	1回	土壌混和	4回以内 種子粉衣は1回、は種前の 土壌混和及びは種時の土壌灌注は 合計1回、株元灌注は2回以内
うり類(漬物用)	白絹病	50~100g/m <sup>2</sup>	は種前	1回	土壌混和	1回
はくさい	尻腐病	20~30kg/10a	定植前	2回以内	全面処理土壌混和	3回以内 (定植前の土壌混和は1回)
みずな	すそ枯病	30kg/10a	定植時			
エンダイブ	すそ枯病	30kg/10a	定植時	2回以内	土壌混和	1回
ふき	白絹病	種茎重量の1%	植付前			
ねぎ	リゾクトニア葉鞘腐敗病	20~40kg/10a	定植前	3回以内	株元散布	3回以内 (種茎粉衣は1回、定植前の土壌 混和は1回、株元灌注は1回)
たまねぎ	苗立枯病 (リゾクトニア菌)	20~30kg/10a	土寄せ前但し、 収穫14日前まで			
みつば	立枯病	40kg/10a	は種前	1回	全面土壌混和	1回 (は種前の土壌混和は1回)
こまつな	リゾクトニア病	20kg/10a	は種前			
麦類	雪腐小粒菌核病	20~40kg/10a	根雪前	2回以内	散布	2回以内 (は種前は1回、は種後は2回以内)
だいこん	亀裂腐変症 (リゾクトニア菌)	3kg/10a	根雪前			
にんじん	根腐病	20~40kg/10a	は種前	1回	全面土壌混和	1回 (は種前は1回、は種後は1回)
ほうれんそう	株腐病	20~40kg/10a	は種前			
ごぼう	黒あざ病	40kg/10a	は種前	1回	全面土壌混和	1回
そば	立枯病	20kg/10a	は種前			
うど	白絹病	3g/株	根株養成畑定植前	2回以内	根株粉衣	3回以内 (粉剤は1回、 水和剤は2回以内)